

はばたけ

東京都社会福祉事業団
東京都八街学園
「はばたけ」

令和元年度 第1号

(通算 第47号)

令和元年 6月 23日発行

〒289-1103 千葉県八街市八街に 151 ☎043-443-1021 FAX 043-443-7215

URL <http://www.yachimata-gakuen.jp/> E-mail info@yachimata-gakuen.jp

園長挨拶

平成から令和となり、記念すべき改元後の「はばたけ」発行となりました。

昭和はアナログの時代、平成はデジタルの時代と言われます。例えば旅行をする場合、昭和の時代は、地図と時刻表が必需品でありました。平成の時代では、カーナビが案内してくれ、電車の乗換もスマホですぐに検索できるようになりました。そして令和は人工知能(AI)の時代となるといわれており、行先を伝えれば自動運転で何も考えずに目的地に到着することが可能となりそうです。一層便利になるのは良いことですが、人間の思考回路が退化し、AIがないと生活できない時代が来るのではないかと心配です。

さて、改元後の第一号の発行ということで、学園のルーツを探るため、平成九年に創立五十周年を記念して発行された、「八街学園五十年のあゆみ」を拝読しました。

一部を要約してご紹介します。

『太平洋戦争終戦後、東京都内に生活する浮浪児の收容先として、陸軍八街飛行学校の兵舎を園から東

京都が借受け、終戦の一年後(昭和二十一年八月十五日)に開設された。当時の日本は食糧難の時代で、学園の最大の課題も「食べること」であった。児童と職員とその家族を合わせて百五十名を超える集団の食糧確保は、一日も欠かせない死活問題であった。給食担当職員は、近隣の農家を始め、鉾子方面まで買い出しに出かけ、食べ物が入らぬ時には、一椀の麦粥で飢えをしのぐこともあった。こうした不安定な状況のもとで、子どもと職員に共通する意識があった。食べ物を手に入れなければ命に関わる危機感である。これが自給自足の手段に活路を求める動機となった。そして、学園内の山林を開墾し、伐採した木は燃料や寮舎の補修に利用し、農耕地として一万平米以上の作付け事業を計画した。この農耕実施によつて、所期の自給自足が達成されたかは不詳であるが、食糧事情の好転により、農耕実施は短い期間で中止されたと推察される。しかし、この労働体験が契機となつて、敷地の山林の開墾が始められ、立木の伐採、抜根などの重労働作業が中学生の日課となつた。中学生たちの汗によつて、山林地帯の開墾が進み、外周を残して山林の面影は消え、敷地の九十パーセントは開放的な原野となつた。昭和三十

十年には、「上のグラウンド」「下のグラウンド」と呼ばれた二か所の運動場が完成し、野球場や陸上競技場へと生まれ変わったのである。また、伐採した立木の一部は製材として家屋の補修用に利用し、不要となつた原木は燃料として利用した。開設後、十年間で九百六十名の入所児童を支援し、退所児童は八百十二名であった。『開設当初の先人の苦勞がよく伝わってきます。まだまだ、ご紹介したいことは沢山ありますが、紙面の都合上、次回にしたいと思います。』

最後に、令和となり最初の視察は、東京都福祉保健局内藤局長でありました。児童養護施設の現状と八街学園が地域に支えられて無事に運営できていることをお伝えしたところでありました。今後とも、地域の皆様、そして、関係機関のご協力をいただきながら、職員一丸となつてより良い学園の運営に努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

園長 新堀 良二





卒園を祝う会

★去る3月9日、東京都八街学園にて「卒園を祝う会」が行なわれました。今年度は高校3年生三名がそれぞれ八街学園を離れ、新しい生活をスタートさせました。



※職員によるパフォーマンスの様子

新入学児童の言葉

今年度は新たに十四名の児童が小学校・中学校・高等学校に入学・進学致しました。新しい生活に向けた児童の抱負をご紹介します。

C・1寮 Rさん (小学校)

「勉強を頑張る！」

「ご飯をいっぱい食べる。」



D・1寮 Rさん (小学校)

「テストと漢字を頑張る。」

「友達を3人から100人作る。」

A・1寮 Aさん (中学校)

「普通に頑張る。」



A・2寮 Aさん (中学校)

「演劇部の黒子役で活躍したい」



B・1寮 Rさん (中学校)

「中学生としての自覚を持って、頑張りたいです。」



B・2寮 Tさん (中学校)

「普通に頑張りたい」



C・2寮 Hさん (中学校)

「毎日、朝から登校する」



A・1寮 Iさん (高等学校)

「遅刻をしない、赤点を取らない」

A・2寮 Sさん (高等学校)

「来年度から頑張る」

A・2寮 Hさん (高等学校)

「とにかく頑張りたい」



C・1寮 Kさん (高等学校)

「ワールドカップで活躍して、頑張って、携帯を購入したい」

「おもいやり」



C・2寮 Hさん (高等学校)

「赤点を取らない」

D・1寮 Aさん (高等学校)

「恋と部活、勉強の両立」



D・2寮 Sさん (高等学校)

新転入職員のご紹介

今年度八街学園には、新たに6名の職員が加わりました。

自己紹介を兼ねて、新転入職員に4つの質問をしました！

【質問】

- ① 好きな食べ物はなんですか
- ② 得意なことや好きなことは何ですか
- ③ 好きな動物やキャラクターは何ですか
- ④ ひっこごとお願いします！

よろしく
お願いします



★泉 佳奈枝 (支援部門)

- ① ナポリタン
- ② ツーリング、読書
- ③ コジコジ
- ④ 北海道から来ましたが、寒さに弱いです。よろしくお願いします！



★西河 魁 (支援部門)

- ① お寿司、魚料理
- ② 車の運転が好きです。映画もよく観ます。
- ③ 犬を飼っているのですが、犬が好きです。
- ④ 児童分野1年目なので慣れないことだらけですが頑張ります。

★増茂 日和 (支援部門)

- ① 肉じゃが
- ② 写真を撮ること
- ③ パンダ
- ④ これからよろしくお願いします。



★田上 弘己 (支援部門)

- ① 米と肉と魚の組み合わせ
- ② テレビ、映画、ゲームをして家で過ごしています。
- ③ 明石家さんま
- ④ 児童と遊びを通して仲良くなりました。少しずつ指導が上手く出来るよう努力中です！



★三門 咲 (支援部門)

- ① 海鮮とからあげ
- ② 寝る！食べる！外に出かけることも好きです。
- ③ 犬！柴犬が好きです！
- ④ たくさん話しかけてください！よろしくお願いします。



★大杉 知子 (調理)

- ① ポテト (ポテトチップス・フライドポテト)
- ② 映画鑑賞
- ③ うさぎを飼っています。パンダも好きです。
- ④ 美味しい食事を作って、よろこんでいただけるよう頑張ります！



転退出職員のご紹介

退職

高梨 優樹 (支援部門)

山下 和枝 (支援部門)

古里 沙彩 (調理)

転出

染矢 みか (支援部門)

ありがとう
ございました



野球大会

学園行事との重なりで参加できなかった江戸っ子杯野球大会の代わりに、平成三十年度は学園での野球大会を企画しました。

初めての企画で難しさもありつつ、何とか実現できた大会当日。天気はきりぎり晴れという微妙なものでしたが、午前中から児童たちは気合満々。一生懸命練習してきた成果を発揮しようとして張り切っていました。

児童と職員との混合チーム対抗という形で試合開始です。いざ始めると緊張から硬くなってしまいう児童もいましたが、徐々にほぐれてきて良いプレーを連発していました。負けじと職員も大人気な全開のプレー。両チームとも喝采が飛び交います。

印象的だったのはフェアプレー精神です。年齢が低い児童に対して打ちやすいボールを投げてあげるピッチャー、多少のファウルは大目に見てあげる外野など、特に年齢が高い児童のフェアプレー精神が際立っていました。さすがお兄ちゃんたち!!

家庭復帰を間近に控えた児童に、敵・味方関係なく最終打席を回そうとしていた場面は感動的でした。児童も職員も一緒に楽しみながら取り組めた、

思い出に残る野球大会でした。



広いグラウンドで
思いっきりプレーしました



キャッチャー姿が
カッコイイ!!

行事予定

- 7月 夏季休業
- 22日 江戸っ子杯ドッジボール大会
- 25日 納涼祭
- 8月 始業式
- 9月 2日 中学校運動会
- 7日 10月 小学校運動会
- 19日 25日 中学校合唱コンクール



八街学園を退所した皆様へ

学園を出て、一人暮らしをしたり、家庭に戻ったりなど様々な方がいらっしやると思っています。八街学園はそんな退所者の皆さんに、アフターケアとしてずっと関わっていき、何か手助けが出来れば、と思っています。

困ったことだけではなく、「話を聞いてほしい」、「なんとなく電話してみただけ」、そのようなちよつとしたことでも大歓迎です。

もしかしたら、転勤や退職で知っている職員がいない、ということもあるかもしれません。そういうときは、アフターケアの担当職員もいます。

みなさんの連絡を待っています。



★ボランティアさん募集のお知らせ★

★フレンドホーム（家庭生活体験事業委託家庭）を募集しています。

八街学園で暮らしている児童の中には、夏休みや冬休みなどに、自分の家庭に帰れない児童がおります。

そこで、みなさまのご家庭に夏休みや冬休み、あるいは週末などに、児童を家族の一員として招いてもらい、家庭生活を体験させていただけるボランティアを募集しています。期間は1日から7日程度で、概ね3歳から12歳までの児童が対象となります。

★学習ボランティア（小中学生対象）を募集しています。

小学生・中学生を対象に、個別あるいは、グループでの学習をお手伝いして頂けるボランティアを募集しています。

教育関係者・学生・および教育に関心をお持ちの方など、是非ご連絡ください。お待ちしております。

★遊びを通じてのボランティア（小中学生以下対象）を募集しています。

資格等は問いません。是非ご連絡ください。お待ちしております。

連絡先

043・443・1021

ボランティア担当…平井まで